

沖縄県地域公共交通協議会 議事要旨

令和7年度第2回 <令和7年6月9日>

P.1

沖縄県

1 令和7年度第2回協議会 議事次第

第2回沖縄県地域公共交通協議会

日 時：令和7年6月9日(月)
10時00分～11時30分
場 所：那覇商工会議所ホール

次 第

1 開 会

2 議 題

- | | |
|----------------------------|------|
| (1) 令和6年度進捗状況及び令和7年度取組について | 資料 1 |
| (2) 令和7年度取組内容について | 資料 2 |
| (3) 地域間幹線系統確保維持計画の変更について | 資料 3 |

3 報告事項

- | | |
|------------------------------|--------|
| (1) 観光2次交通結節点「北谷ゲートウェイ」中間報告 | 参考資料 1 |
| (2) 沖縄県公共交通活性化推進協議会の活動状況について | 参考資料 2 |

【配布資料】

次第、出席者名簿、会議規約

資料1 令和6年度進捗状況及び令和7年度取組

資料2 令和7年度の取組内容

資料3 令和8年度地域間幹線系統確保維持計画（案）

参考資料1 観光2次交通結節点「北谷ゲートウェイ」中間報告書（概要版）

参考資料2 沖縄県公共交通活性化推進協議会の活動状況

参考資料3 地域高齢者等移動支援事業の概要（地域振興協会）

参考資料4 「沖縄「交通渋滞・交通空白」解消イニシアチブ～移動を変えて、未来を豊かに～」に関する記者発表について

参考資料5 協議会議事要旨（令和6年度第3回、令和7年度第1回）

2 令和7年度第2回協議会 議事概要

1 議題

(1) 令和6年度進捗状況及び令和7年度取組について

資料No	委員	事務局
資料1	<小川委員（琉球バス交通）> <ul style="list-style-type: none">路線バス事業者4社ともに、公的資金を頂いても赤字という状況をご理解頂たい。	—
資料1	<中村会長> <ul style="list-style-type: none">強力に推進する施策、事業のR7取組内容に記載されている各項目は、個別の検討にみえるが、それぞれが相互に繋がっていることを強調しておきたい。	—

(2) 令和7年度取組内容について

資料No	委員	事務局
資料2	<中村会長> <ul style="list-style-type: none">市町村ごとに地域の特徴や抱える課題は異なっており、人々の活動が市町村内で完結する場合や、周辺市町村との活動が活発な場合もある。特に市町村を跨ぐ課題やそのための調整に関しては、県の役割は大変重要であり、市町村と一緒にになって取り組んでいくことが重要である。モビリティ・データの件は、データを集めることを目的化するのではなく、地域の様々な課題をさらに詳細に把握し、不足している視点や対策検討等に活かすなど、データにより客観的に捉えることが重要である。	—

2 令和7年度第2回協議会 議事概要

(3) 地域間幹線系統確保維持計画の変更について

資料No	委員	事務局
資料3	<p><金城委員（沖縄バス）></p> <ul style="list-style-type: none">2頁の“負担者及び負担額”的数値が部会資料と異なっている。事業者は、負担額を確定して事業計画を立てたいと考えており、確認させていただきたい。また、負担者及び負担額の“市町村・事業者”を区分することは可能かがしたい。	<p><事務局></p> <ul style="list-style-type: none">今回の資料の数値が確定値である。負担者及び負担額の区分については、今後確認していく。

(4) 各議題について

資料No	委員	事務局
	<p><中村会長></p> <ul style="list-style-type: none">議題(1)～(3)について異議はあるか。資料3別紙については、国土交通大臣に認定申請を行うこととなる。	<p><各委員></p> <p>異議なし。</p>

2 令和7年度第2回協議会 議事概要

2 提案

資料No	委員	事務局
	<p>＜安富祖委員代理（金武町）＞</p> <ul style="list-style-type: none">本町から中部地区への高校通学者数は約200名程度いるが、沖縄バス77番の変更に伴い、バス乗換による移動時間や運賃の増加、部活動後は実証運行を利用すると帰宅時間が22時を過ぎるため部活動を制限しているなど、高校生への負担が生じている。これら課題への対応として、町所有のマイクロバスを活用した支援を予定しており、今後、県と意見交換を行いながら取り組む予定である。	—
	<p>＜金城委員（沖縄バス）＞</p> <ul style="list-style-type: none">沖縄県より金武町独自の支援に関する情報は頂いていたが、詳細について把握できていないことから、今後、機会を頂ければと考えている。	—
	<p>＜安富祖委員代理（金武町）＞</p> <ul style="list-style-type: none">町長からも、交通弱者、運賃負担増、貧困といったワードも上がっており、何とかできないかと考えている。今後調整をお願いしたい。	—

3 報告事項

(1) 観光2次交通結節点「北谷ゲートウェイ」中間報告

資料No	委員	事務局
参考資料1	なし	—

2 令和7年度第2回協議会 議事概要

(2) 沖縄県公共交通活性化推進協議会の活動状況について

資料No	委員	事務局
参考資料2	<p>＜池田委員（琉球大学）＞</p> <ul style="list-style-type: none"> 活性化推進協議会においても、バスレーン及び基幹バスは重要な位置づけとなっていることから、連携して取組んでいきたい。 	—
参考資料2	<p>＜関委員代理（沖縄総合事務局開発建設部）＞</p> <ul style="list-style-type: none"> バスレーン整備やバスの定時性向上等の取組においては、交通規制だけではなく道路管理者がしっかりと道路の空間整備を合わせて実施することが重要と認識している。 また、バスレーンの整備は、速達性が向上することで、人員不足等を抱えるバス事業者の経営改善にもつながっていくものと考えている。 バスレーン整備はできるできないだけでは進まないので、先ずはその一步としの協力型バスレーンだと考えている。 これを実施することで、道路構造等の課題を抽出し、クリアしていくことで良い方向に取組んでいくことが沖縄県の目指すべき姿ではないかと認識しており、それにしっかりと協力していきたいと考えている。 	—
参考資料2	<p>＜小川委員（琉球バス交通）＞</p> <ul style="list-style-type: none"> 協力型バスレーンは大変ありがたいが、特に一般車の協力が不可欠となるので、周知徹底について各関係者の協力が必要であるため宜しくお願いしたい。 	—
参考資料2	<p>＜中村会長＞</p> <ul style="list-style-type: none"> バスレーン整備は、バスの定時性向上だけでなく、道路の安全性や円滑性向上に繋がる他、地域全体のバス事業にもプラスがあるとの意識を持つことが重要である。 そのためにも様々なデータを検証し、整備効果を実感できるようにしていく必要がある。 	—